

地域包括ケアシステムの事業実施について

事業名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考
1 介護予防・日常生活支援総合事業 (1) 介護予防・生活支援サービス事業 (2) 一般介護予防事業	①介護予防訪問介護、通所介護を、訪問型、通所型サービスへ移行 ①いきいき百歳体操の実施(26年度～) ②いきいき百歳体操サポーター養成講座の実施(27年度～) ③いきいき百歳体操交流会を開催	①訪問型、通所型サービスの実施 ②有償ボランティアによる生活支援の検討 ①いきいき百歳体操の推進 ②いきいき百歳体操サポーター養成講座の実施 ③いきいき百歳体操交流会の実施 ④地域リハビリテーション支援センターとの連携	①訪問型、通所型サービスの実施 ②有償ボランティアによる生活支援の実施 ①いきいき百歳体操の推進 ②いきいき百歳体操サポーター養成講座の実施 ③いきいき百歳体操交流会の実施 ④地域リハビリテーション支援センターとの連携	
2 地域ケア会議の実施 (各包括Cが実施する地域ケア個別会議の検討内容を、市が実施する地域ケア推進会議へ集約し、施策展開を図り、生活支援サービスを開発する。)	①自立支援マネジメント会議の検討(通所型サービス利用者のマネジメントの検討をモデル的に実施) ②地域ケア推進会議を開催(地域ケア個別会議等から見えてきた課題を集約・検討)	①自立支援マネジメント会議の実施 ②地域ケア推進会議の実施(新たな地域資源の開発や市の施策展開を図る。)	①自立支援マネジメント会議の実施(会議を関係機関へ公開) ②地域ケア推進会議の実施	地域ケア推進会議は地域包括ケアシステムを構築するための最上位の会議とする。
3 在宅医療・介護連携推進事業 (地域の医療・介護の関係者による会議や研修等を行い、多職種が連携、協働し在宅医療と介護サービスを一体的に提供できる体制を構築する。)	①在宅医療・介護連携推進会議準備会で関係機関の課題を集約	①在宅医療・介護連携推進会議の実施 ②連携相談支援窓口の設置の検討 ③多職種による意見交換会の実施 ④在宅看取りについての支援施策の検討	①在宅医療・介護連携推進会議の実施 ②連携相談支援窓口の設置 ③多職種による意見交換会の実施 ④在宅看取りについての支援施策の実施	在宅医療・介護連携推進会議で検討された内容は、地域ケア推進会議へ報告する。
4 認知症総合支援事業 (認知症への理解を深めるための普及・啓発の推進や適切な医療・介護等の提供、若年性認知症施策の強化、介護者への支援等を実施し、認知症の方や家族にやさしい地域づくりを進める。)	①認知症カフェ支援事業の実施 ②認知症初期集中支援チームを発足し、支援を実施(チーム員：市社会福祉士、市保健師、認知症サポート医)	①認知症カフェ支援事業の実施 ②認知症初期集中支援の実施(チーム員：市社会福祉士、包括C看護師、認知症サポート医) ③若年性認知症支援施策の検討 ④認知症見守りネットワーク体制の見直し	①認知症カフェ支援事業の実施 ②認知症初期集中支援の実施(チーム員：市社会福祉士、包括C看護師、認知症サポート医) ③若年性認知症支援の実施 ④認知症見守りネットワークの実施	
5 生活支援体制整備事業 (高齢者の在宅生活を支えるため、地域での生活支援や見守りなど「住民による支え合いの仕組みづくり」を進める。)	①ささえあい協議会の設置準備(2地区でモデル的に実施)	①ささえあい協議会の実施(2地区で実施、2地区の立ち上げ) ②生活支援コーディネーターの配置(2名) 上記①②を加古川市社会福祉協議会へ業務委託開始	①ささえあい協議会の実施(4地区で実施 4地区の立ち上げ) ②生活支援コーディネーターの配置(4名)	ささえあい協議会で検討された内容は、地域ケア推進会議へ報告する。